

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	柳原進吾			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編現代の国語				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	01・03・05 06・11・12	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績30点・課題評価40点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						

指導目標							
様々な作品に触れることで、日本語を正確に理解し的確に運用する力を養う。 ①物語中で登場人物の気持ちを汲み取ったり、一節のもつ意味を考えたりすることで、想像力を養い言語化する力をつける。 ②評論文を読み、著者の意図した内容を正確に読み取る読解力を身につける。 ③物語中で登場人物の気持ちを汲み取ったり、一筋のもつ意味を考えたりすることで想像力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	ペン字の練習・視写					
5	4	原稿用紙の使い方	1	11	5月末	↑ ↓	
6	4	手紙・メールの書き方	2	12	6月末	↑ ↓	
7	3	ルリボシカミキリの青	3	01	7月末	↑ ↓	
9	5	前期の復習					
10	4	リンゴのほっぺ	4	05	11月末	↑ ↓	
11	4	リンゴのほっぺ	4	05	11月末	↑ ↓	
12	3	スキマが育む都市と緑と生命のつながり	5	03	12月末	↑ ↓	
1	3	真の自立とは	6	06	1月末		
2	4	後期のまとめ					
3	3	年間のまとめ					

年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
地理歴史	地理総合	2	2	小長谷 ちひろ			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
高等学校 新地理総合		帝国書院		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	03・04・17 11・13・15	面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	課題評価40点・試験成績30点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	地球上の位置	1 2 3	03 04 17	6月末		
5	6	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活(1) 火山災害と防災					
6	8	南アメリカの地理 アフリカの地理					
7	7	中央アジアの地理					
9	6	ヨーロッパの地理					
10	8	アジアの地理 中央アメリカの地理					
11	8	オセアニアの地理 経済成長による人々の生活の変化—東アジア—	4 5 6	11 13 15	12月末		
12	6	人口問題・食料問題					
1	6	地球環境問題					
2	6	日本の地理 静岡県の地理					
3	5	後期のまとめ 年間のまとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学	数学Ⅰ-1	2	2	小川 典子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ essence		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	数学Ⅰ 51・52・70・54・55・56	面接時数	全実施時間数	35 時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・(学期) 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
整式、・因数分解・実数・根号を含む計算・1次不等式・集合について理解を深め、基本的な計算方法を理解することができるようになる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3 1	整式 報告課題作成	1	1	7月末		
5	1 2 1	小テスト①実施 整式の加法・減法 指数法則・式の展開委					
6	2 1 1	乗法公式・因数分解 因数分解 報告課題作成	2	2	7月末		
7	1 1	小テスト②実施 報告課題作成	3	3	7月末		
8							
9	1 2 1	小テスト③実施 前期試験対策 前期試験					
10	1 3 1	実数 根号を含む式の計算 報告課題作成	4	4	12月末		
11	1 2 1	小テスト④実施 1次不等式 報告課題作成	5	5	12月末		
12	1 1	報告課題作成 小テスト⑤実施	6	6	12月末		
1	1 2	小テスト⑥実施 集合					
2	2 1	後期試験対策 後期試験					
3	2	1年間の復習					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	地学基礎	2	2	鎌田修平			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
地学基礎		第一学習社					
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	2,4,13,15,16,18	面接時数	全実施時間数 70時間		
	報告課題集				標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	課題評価40点・試験成績30点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	4	宇宙の誕生					
	2	天体の誕生					
5	4	地球の変遷					
	4	生物の進化と多様性					
6	2	生物の進化と多様性					
	4	ヒトの進化	1	13	7月18日		
7	2	ヒトの進化	2	15			
	2	生物の変遷	3	16			
9	4	生物の変遷					
	2	人間活動の足跡					
10	4	地球のすがた					
	4	日本の自然環境の特徴					
11	4	地震による災害と防災	4	02	12月18日		
	4	日本の自然災害と防災	5	04			
12	6	これからの地球環境	6	18			
1	6	これからの地球環境					
2	6	これからの地球環境					
3	4	年間のまとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1	
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者				
保健体育	保健1・体育1	3	3	横手暁也				
教科書名		出版社	学習書	学習期間				
現代高等保健体育		大修館書店		通年				
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	体育 11・03・13	面接時数	全実施時間数 70 時間			
	報告課題集		保健 01・02・15		標準面接時数 15 時間			
定期試験	年間・学期 3回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	70%							
指導目標								
保健体育にかかわる大切な知識を理解し、何ができるようになるのかを基礎として、そのうえで「どのように社会や世界と関わり、より良い人生を送ることができるか」積極的に学べるようになってほしい。								

月	指導時数	単元・学習内容		レポート指導			試験範囲	備考
				回数	選択番号	提出日		
4		(体育)	(保健)					
	1		身長、体重、視力検査等					
	2	整列、方向転換、学院歌						
	4	春合宿にて体力測定						
5	2	文化としてのスポーツ		1	11	7月末		
	1	体育①小テスト実施						
	2	競技練習						
	2							
6	2	競技練習						
	2							
	2							
	1		健康の成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復	1	1	7月末		
7	10	前日リハ・当日	保健①小テスト					
	1	サーキットトレーニング						
9	2	スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境		2	3	9月末		
	1	体育②小テスト						
	2	ダンス・集団行動・学院歌						
	2	ダンス・集団行動・学院歌						
10	2		運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	2	2	12月末		
	1		保健②小テスト					
	2	ドッジフリスビー、テーブルバレー						
	2	オリンピックとパラリンピックの意義		3	13	12月末		
11	1	体育③小テスト						
	2		日常的な応急手当	3	15	12月末		
	1		保健③小テスト					
	2	ストレッチング、エアロビックダンス						
12	2	サーキットトレーニング						
	2	室内雪合戦、テーブルバレー						
1								
	2	ストレッチング、有酸素運動						
	2	卓球、ラダートレーニング						
	2	室内雪合戦、テーブルバレー						
2	2	ダンス・集団行動・学院歌						
	2	ダンス・集団行動・学院歌						
	2	リレーゲーム						
3	1	ドッジボール (ソフトバレーボール)						
	1	卓球、ラダートレーニング						

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
芸術	美術Ⅰ	2	2	小川典子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術Ⅰ		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	01・02・03 04・05・06	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	定期試験70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
「美術の幅広い創造活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化」と幅広く関わり、学校生活の中だけでなく、今後の人生において、より楽しく豊かにアートに親しめるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	・色彩…色の持つイメージ・効果的な配色	1	1	5月上旬	↕	※作品評価
5	4	・デッサン…トーンとハッチング・光と影	2	2	6月中旬	↕	
6	4	・空間表現(遠近法)…線遠近法と空気遠近法	2	3	7月末	↕	
7	6	・空間表現(遠近法)…遠近法を用いた風景画	3			↕	
9	4	・絵画構成(コラージュ)…作品の鑑賞・道具集め・道具の扱い	4	4	10月末	↕	
10	5	・絵画構成(コラージュ)…作品制作				↕	
11	5	・ビジュアルデザイン…Tシャツのデザイン・レタリング	5	5	11月末	↕	
12	3	・美術史…様々な時代の絵画の特徴・作品の模写	6	6	1月末	↕	
1	4	・美術史…作品の模写				↕	
2	3	・自由制作(ストップモーションアニメ)…絵コンテとは・アプリの使い方					
3	3	・自由制作(ストップモーションアニメ)…作品制作					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ－1	2	2	白瀧 瞳			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Abroad! English CommunicationⅠ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	01・31・02・03・04・05	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績30点・取得級評価40点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどの確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ①語彙、文法などを学習し、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、日常的な話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、実践しようとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	Lesson 1 Breakfast around the World－私の朝ごはん 【過去形】					
5	3	基礎文法について(be動詞と一般動詞の否定文と疑問文)	1・2	01・31	5月29日	↑ ↓	
6	4	Lesson 2 Au stralia’ s Cute Quokkas－人なつっこい野生動物 【進行形】	3	2	6月30日	↑ ↓	
7	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
9	4	Lesson 3 Life with Spade－愛馬とともに 【助動詞】	4	3	9月30日	↑ ↓	
10	4	Lesson 4 A Miracle Mirror－夢のような絶景 【to不定詞】	5	4	10月30日	↑ ↓	
11	4	英語検定対策 (文法・リスニング)					
12	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
1	3	Lesson 5 A Dream Engine－博多工業高校 自動車工学科 【動名詞】	6	5	1月22日	↑ ↓	
2	4	英語検定対策 (文法・リスニング)					
3	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
情報	情報Ⅰ	2	2	小川典子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編 情報Ⅰ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	02・01・03・08	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 4 時間		
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
SNSを含むインターネットについて、利点と注意点を広い視点を持ち考え、適切に利用する力を育む。また、メディアの特性を理解し効果的に活用する力を育む。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	SNSの利用について					
5	4	知的財産権	1	02	5月下旬	↑ ↓	
6	4	情報とメディアの特性	2	01	7月下旬	↑ ↓	
7	6	情報について					
9	4	情報セキュリティ					
10	5	情報システム					
11	5	情報化と私たちの生活の変化	3	03	11月中旬	↑ ↓	
12	3	アルゴリズムとプログラミング	4	08	12月中旬	↑ ↓	
1	4	プログラミング実践					
2	3	データ分析					
3	3	データ分析					

2026年度 年間教育計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	1
科目名	ビジネス基礎1	単位数	2	教科書		出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		電卓について(電卓の使い方・キーの説明・電卓検定の説明)	6		
5		乗算・見取り算の練習	8		
6		見取算・伝票算の練習	8		
7		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	4	検定	
8					
9		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	8		
10		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	8	検定	
11		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	8		
12		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	4		
1		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	6	検定	
2		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	6		
3		検定試験に向けて(3,4級合格への取り組み)	4		

《留意事項》

2026年度 年間教育計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科	コース		学年・年次	1		
科目名	課題研究2	単位数	2	教科書	学校生活で築くキャリアデザイン	出版社	学校教材

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P2 ～ P7	学校とはどのような場所なのか。 高等専修学校での3年間を考える。 目標設定の大切さ	5		テキスト Vol.1
5	P6 ～ P16	学校生活でチャレンジできること 目標の設定 習慣が持つ影響について考える。 習慣について自己分析をしてみる。	7		テキスト Vol.1
6	P17 ～ P26	生活習慣の改善方法 調べ学習 著名人の習慣 学校生活でどのような習慣を身につけるか 学校生活でどのような習慣を身につけるか	8		テキスト Vol.1
7	P27 ～ P29	第一印象の大切さについて 良い印象と悪い印象 良い印象の与え方。アルバイトの面接について	6		テキスト Vol.1
8					
9	P28 ～ P30	夏休みの出来事、良い経験、習慣を原稿用紙にまとめる グループワーク 自己紹介 グループワーク 自己紹介 前期 テキストまとめ	8		テキスト Vol.1
10	P2 ～ P7	集団で生活する意味 集団で活動するメリット 集団の特徴 集団で力を発揮するためには	8		テキスト Vol.2
11	P8 ～ P13	集団の中での共有 学校生活での共有 共有の為に必要な考え方 コミュニケーションの方法、種類。	8		テキスト Vol.2
12	P14 ～ P19	コミュニケーションをとるうえで大切なこと 非言語コミュニケーションについて コミュニケーションツールの特性	6		テキスト Vol.2
1	P20 ～ P23	コミュニケーションツールを活用しよう マナーの種類 マナーとルールの違い	6		テキスト Vol.2
2	P24 ～ P27	調べ学習 マナーについて 調べ学習 マナーについて マナーの必要性 自分の生活で実践するマナー	6		テキスト Vol.2
3	P28 ～ P34	後期 テキストまとめ 2年時の目標を考える 2年時の目標を考える	5		テキスト Vol.2

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	1
科目名	情報処理1	単位数	5	教科書	30時間でマスターWord2021 30時間でマスター Excel2021 30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2021 Illustrator &Photoshop操作とデザインの教科書	出版社	実教出版 技術評論社
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			175h		
4	- - -	[Word] Wordの基礎知識 ・ 文字の入力 保存口 [Excel] Excelの基礎知識 ・ データの入力、クリア [PowerPoint] プレゼンテーションとは ・ プレゼンテーションとは何かを理解 [Photoshop & Illustrator] Lesson1～2 ・ ツールパネル、パネルの名称や機能・基本画面の操作方法			15		
5	- P146～162 -	[Word] 文章作成 ・ 文書の構成について 中央揃え・右揃え [Excel] ワークシートの活用 ・ 行・列の削除、挿入、移動 [PowerPoint] 資料の作成 ・ 文字の入力やスライドデザイン Lesson2～3 ・ 図線、曲線の作成方法、オブジェクトの選択、オブジェクトの変形			20		
6	- P234～263	[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] Lesson04 ・ 色の設定、グラデーション、パターン、図びアランスパネル、オブジェクトの不透明度			20		
7	- P174～177 -	[Word] 文書作成 ・ 囲み線、下線、表の作成 [Excel] ワークシートの活用(2) ・ 表示形式の変更・文字属性の変更 [PowerPoint] プレゼンテーション作成・発表 [Photoshop & Illustrator] 作品制作 ・ オリジナルエンブレムの作品制作			20	検定試 検定試	
8							
9	P200～216 - P264～275	[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] 図形や線を書く ・ フリーハンド系ツールの作成方法			20	前期試験 (校内模試)	
10	P200～217 P179～206 P276～277	[Word] Word機能の学習 ・ フォント変更、図形挿入、セル塗りつぶし [Excel] 端数調整 ・ 四捨五入・切り捨て・切り上げ [PowerPoint] プレゼンテーションのテクニック ・ 配色の設定 [Photoshop & Illustrator] Lesson06 ・ 線の設定、線幅ツール、ブラシの適用			20	検定試 検定試	
11	- P211～221 P278～285	[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] Lesson06 ・ 練習問題を作成			20		
12	- P194～195 -	[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] 作品制作 ・ オリジナルエンブレムの作品制作			15	検定試 検定試	
1	P220～236 P196～199 -	[Word] Wordの活用 ・ 図形描画・テキストボックス [Excel] Excelの応用 ・ 順位付け [PowerPoint] プレゼンテーションのテクニック ・ スライドマスターにイラストを挿入 [Photoshop & Illustrator] 作品制作 ・ オリジナルエンブレムの作品制作			15	後期試験 (校内模試)	
2		[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] 作品制作 ・ テーマに沿った作品制作			10		
3		[Word] [Excel] 検定試験に向けた学習 ・ 検定試験の過去問題を使用し学習 [PowerPoint] [Photoshop & Illustrator] 作品制作 ・ 自由作品制作					

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探究の時間		2	2	尾崎海斗			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	課題70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合							
指導目標							
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	自分を大切にする心 他者を大切にする心 集団でのマナー					
5	6	学校生活の目的 自分の可能性を広げるための学習					
6	8	積極的に行事に参加し協力する 協力してクラスを創り上げる 時間の共有について					
7	6	気遣い、心配り、第一印象 広い視野を持ち生活する	1	7月下旬			
9	7	学ぶことの大切さ 生活習慣、印象の良い自分づくり 責任について					
10	8	社会人の基本(身だしなみ、時間管理、コミュニケーション)					
11	5	社会人の基本(話し方、聞き方、公私混同をしない、報連相)	2	11月下旬			
12	6	社会人の基本(考えて行動する) 生活習慣					
1	5	社会人の基本(他者との関わり)					
2	5	社会人の基本(他者との関わり、PDCA、5W2H)					
3	5	社会人の基本(向上心を持つ)					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	柳原進吾			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編現代の国語				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	10・01・05 07・02・06	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績50点・課題評価20点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	50%						

指導目標							
様々な作品に触れることで、日本語を正確に理解し的確に運用する力を養う。							
①自身の意見を他者に伝えるために、どういったことが求められるかを理解し実際に言語化する力を養う。							
②評論文を読み、著者の意図した内容を正確に読み取る読解力を身につける。							
③物語中で登場人物の気持ちを汲み取ったり、一節のもつ意味を考えたりすることで想像力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	原稿用紙の使い方					
5	4	原稿用紙の使い方	1	10	5月末	↑ ↓	
6	4	ルリボシカミキリの青	2	01	6月末	↑ ↓	
7	3	りんごのほっぺ	3	05	7月末	↑ ↓	
9	5	前期のまとめ					
10	4	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	4	07	11月末	↑	
11	4	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	4	07		↓	
12	3	未来をつくる想像力	5	02	12月末	↑ ↓	
1	3	真の自立とは	6	06	1月末	↑ ↓	
2	4	後期まとめ					
3	3	年間まとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2	
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者				
社会	歴史総合	2	2	小長谷ちひろ				
教科書名		出版社	学習書	学習期間				
高等学校 新歴史総合		第一学習社		通年				
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	07・09・10・11・12・13	面接時数	全実施時間数 70時間 標準面接時数 2 時間			
	報告課題集							
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	課題評価40点・試験成績30点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	30%							
指導目標								
世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、歴史的思考力を培う。 ①日本、世界の歴史の展開に関して理解し、資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける ②多面的・多角的に考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う								
月	指導時数	単元・学習内容			レポート指導		試験範囲	備考
					回数	選択番号		
4	6	前史 縄文時代 弥生時代 古墳時代						
5	6	飛鳥時代 奈良時代						
6	8	平安時代 鎌倉時代						
7	6	室町時代 安土桃山時代 江戸時代						
9	7	江戸時代						
10	8	欧米の近代化 日本の近代化						
11	5	帝国主義 第一次世界大戦 ロシア革命 大正デモクラシー			1 2 3	07 09 10	11月末	↕
12	6	第一次世界大戦 世界恐慌 ファシズムの台頭			4 5 6	11 12 13	12月末	↕
1	5	第二次世界大戦 満州事変 日中戦争						
2	5	第二次世界大戦 太平洋戦争 日本の敗戦						
3	5	まとめ						

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学	数学Ⅰ-2	2	2	小川典子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ Standard		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	数学Ⅰ09・10・12・13・14・17	面接時数	全実施時間数	35 時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・(学期) 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
2次関数の基本的な性質とそれに伴う計算方法が理解できる。 三角比の基本性質を理解し、公式を使用して計算することができる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	1 2	関数 2次関数とグラフ					
5	3 1	2次関数の平行移動 報告課題作成	1	9	7月末		
6	1 2 1	小テスト①実施 2次関数の最大値・最小値 報告課題作成	2	10	7月末		
7	1 1	小テスト②実施 報告課題作成	3	12	7月末		
8							
9	1 2 1	小テスト③実施 前期試験対策 前期試験					
10	2 1 1	鋭角の三角比 報告課題作成 小テスト④実施	4	13	12月末		
11	1 2 1	三平方の定理 三角比の利用と相互関係 報告課題作成	5	14	12月末		
12	1 1	小テスト⑤実施 報告課題作成	6	17	12月末		
1	3	三角比への応用					
2	1 1 1	小テスト⑥実施 後期試験対策 後期試験					
3	2	1年間の復習					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	生物基礎	2	2	鎌田修平			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新生物基礎		第一学習社					
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	04、06、07 08、13、18	面接時数	全実施時間数 70時間		
	報告課題集				標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	課題評価40点・試験成績30点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
生物や生物現象への関心を高め、生物学的な探究能力を養う。また、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	6	生物の特徴 生物の共通性					
5	2	生物の特徴 生物の共通性					
	4	遺伝子とその働き 遺伝情報とDNA					
6	8	遺伝子とその働き 遺伝情報のしくみ	1 2 3	04 06 07	7月18日		
7	4	遺伝子とその働き タンパク質合成					
9	4	前期のまとめ					
	2	遺伝子の活用技術					
10	2	遺伝子の活用技術	4 5 6	08 13 18	12月18日		
	4	ヒトのからだのしくみ					
11	4	ヒトのからだのしくみ					
	4	ヒトのからだの調節					
12	6	生物の多様性と生態系					
1	6	生物の多様性と生態系					
2	6	生物の多様性と生態系					
3	4	年間のまとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	体育2・保健2	2	2	横手暁也			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	体育 05・06 保健 07・08・18	面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 10 時間		
定期試験	年間・学期 2回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
保健体育にかかわる大切な知識を理解し、何ができるようになるのかを基礎として、そのうえで「どのように社会や世界と関わり、より良い人生を送ることができるか」積極的に学べるようになってほしい。							

月	指導時数	単元・学習内容		レポート指導			試験範囲	備考
				回数	選択 番号	提出日		
4		(体育)	(保健)					
	1		身長、体重、視力検査等					
	1	整列、方向転換、学院歌						
	1	春合宿にて体力測定						
5	1	技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム		1	5	7月末		
	1	体育①小テスト						
	1	総踊り・競技練習						
	1							
6	1	総踊り・競技練習						
	1							
	1		ライフステージと健康 運動関与健康 意思疎通と集団行動の選択 転倒・出席と健康 適切な人と人との関わり合い 健康な生活と健康	1	7	7月末		
	1		保健①小テスト					
7	6	前日リハ・当日						
	1	リズムダンス						
9	1		中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	2	8	7月末		
	1		保健②小テスト					
	1	ダンス・集団行動・学院歌						
	1	ダンス・集団行動・学院歌						
10	1	体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保		2	6	12月末		
	1	体育②小テスト						
	1	ドッジフリスビー、テーブルバレー						
	1		保健サービスとその活用 医療サービスとその活用	3	18	12月末		
11	1		保健③小テスト					
	1	室内雪合戦、テーブルバレー						
	1	卓球、ラダートレーニング						
	1	ストレッチング、エアロビックダンス						
12	1	リレーゲーム						
	1	室内雪合戦、テーブルバレー						
1								
	1	ストレッチング、有酸素運動						
	1	卓球、ラダートレーニング						
	1	静岡県地域の踊り（試験対策）						
2		ダンス・集団行動・学院歌						
		ダンス・集団行動・学院歌						
		リレーゲーム						
3		ドッジボール（ソフトバレーボール）						
		卓球、ラダートレーニング						

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ－1	2	2	白瀧 瞳			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Abroad! English CommunicationⅠ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	11・12・32・13・14・15	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績30点・取得級評価40点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどの確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ①語彙、文法などを学習し、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、日常的な話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、実践しようとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	Lesson 1 Breakfast around the World－私の朝ごはん 【過去形】					
5	3	基礎文法について(be動詞と一般動詞の否定文と疑問文)	1	11	5月29日	↑ ↓	
6	4	Lesson 2 Au stralia’s Cute Quokkas－人なつっこい野生動物 【進行形】	2・3	12・32	6月30日	↑ ↓	
7	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
9	4	Lesson 3 Life with Spade－愛馬とともに 【助動詞】	4	13	9月30日	↑ ↓	
10	4	Lesson 4 A Miracle Mirror－夢のような絶景 【to不定詞】	5	14	10月30日	↑ ↓	
11	4	英語検定対策 (文法・リスニング)					
12	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
1	3	Lesson 5 A Dream Engine－博多工業高校 自動車工学科 【動名詞】	6	15	1月22日	↑ ↓	
2	4	英語検定対策 (文法・リスニング)					
3	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2	
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者				
家庭基礎	家庭基礎	2	2	石田 尚子				
教科書名		出版社	学習書	学習期間				
新家庭基礎 気づく力 築く未来		実教出版						
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	2/5/6/10	面接時数	全実施時間数 35時間			
	報告課題集				標準面接時数 4時間			
定期試験	年間 4回	評定算出方法	平常時(30%)＋小テスト(70%)					
定期試験の評価割合	70%							
指導目標								
生涯の見通しをもつて、よりよい生活を追求する実践力や生活における自立とともに、他者と共に生きるための知識と技術の習得など社会の変化に対応できる力を養う。 ①自分の一生を見通しながら自立して生活できる能力を身につける。 ②衣食住の生活文化に関心をもたせる。 ③生涯を通して健康や環境に配慮した生活を主体的に営むことができるように知識を深める。								
月	指導時数	単元・学習内容		レポート指導			試験範囲	備考
				回数	選択 番号	提出日		
4	3	これからの人生について考えてみよう		1	2	5月29日	↑ ↓	
5	3	自分らしい生き方と家族						
6	4	社会と関わる(社会保障制度)(ボランティア活動)		2	5	7月16日	↑ ↓	
7	3	社会と関わる(身の回りのユニバーサルデザイン)(心のバリアフリー)						
9	3	前期のまとめ						
10	4	食生活をつくる		3	6	11月30日	↑ ↓	
11	4	食生活をつくる(食事の計画と調理)献立作成		4	10	12月18日	↑ ↓	
12	3	経済的に自立する						
1	3	後期のまとめ						
2	3	ひとり立ちへのstep						
3	2	1年間の復習						

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	2
科目名	ビジネス基礎2	単位数	2	教科書	【電卓】電卓テキスト 【ビジネス能力検定】要点と演習 ビジネス能力検定ジョブパス	出版社	【電卓】大原出版 【ビジネス能力検定】実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			h		
4		【電卓】検定試験に向けて(2・3級合格への取り組み)			6		
	P8-15	【ビジネス能力検定】キャリアと仕事へのアプローチ					
5		【電卓】検定試験に向けて(2・3級合格への取り組み)			6	検定	
	P16-27	【ビジネス能力検定】会社活動の基本					
6		【電卓】検定試験に向けて(2・3級合格への取り組み)			7		
	P28-43	【ビジネス能力検定】コミュニケーションとビジネスマナーの基本				検定	
7		【電卓】検定試験に向けて(2・3級合格への取り組み)			6	検定	
	P44-55	【ビジネス能力検定】指示の受け方 報連相				模擬試験	
9		【電卓】検定試験に向けて(2・3級合格への取り組み)			7	検定	
	P118-159	【ビジネス能力検定】ビジネス文書の基本				検定	
10		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)+C33:I59			7	模擬試験	
	P76-102	【ビジネス能力検定】来客応対					
11		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)			7	検定	
	P103-108	【ビジネス能力検定】冠婚葬祭					
12		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)			6	模擬試験	
	P178-182	【ビジネス能力検定】情報収集とメディアの活用・会社数字の読み方				検定	
1		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)			6	検定	
		【ビジネス能力検定】苦手分野の確認・復習と問題の演習を行う					
2		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)			7	模擬試験	
		【ビジネス能力検定】検定模擬試験				模擬試験	
3		【電卓】検定試験に向けて(1・2級合格への取り組み)			5	模擬試験	
		【ビジネス能力検定】検定試験に向けた復習				検定	

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	2
科目名	課題研究2	単位数	2	教科書	学校生活で築くキャリアデザイン	出版社	学校教材

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P2 ～ P7	自分を見つめてみよう。自分の生活を振り返ってみよう。 自分の経験を振り返ってみよう。 自分史をつくろう。	6		テキスト Vol.3
5	P8 ～ P16	自分史をつくろう。年表作成。 自分を紹介してみよう。自分を説明しよう。 社会について考える。社会人について考える。 大人について考えよう。	7		テキスト Vol.3
6	P17 ～ P26	社会人について考えよう。社会人基礎力について考えよう。 社会人基礎力から今後の目標を考えよう。 人間力について考えよう。人間力から今後の目標を考えよう。	8		テキスト Vol.3
7	P27 ～ P32	職業について考えよう。世の中の職業に目を向ける。 世の中の職業に目を向けてみよう。	6		テキスト Vol.3
8			0		
9	P33 ～ P42	調べ学習・職業について考えよう。 世の中の職業を区分して考えてみよう。 職業と資格のつながりを考える。 資格を取得することの目的を考える。	8		テキスト Vol.3
10	P2 ～ P7	身近な社会について考える。地元の企業に目を向ける。 地元企業について深く調べてみよう。 グループワーク 企業調べの発表。	8		テキスト Vol.4
11	P8 ～ P13	ビジネスの観点から世の中を見てみよう。 グループワーク 新商品・新サービスを考える。プレゼンを実施。	8		テキスト Vol.4
12	P14 ～ P19	職業をとりまく環境について考える。 法律の視点で労働条件や環境について考えよう。	5		テキスト Vol.4
1	P20 ～ P27	働くうえでの環境について考えよう。 保険制度について考えてみましょう。 労働環境に関わる保険制度について考えてみましょう。	6		テキスト Vol.4
2	P28 ～ P34	保険制度の重要性について考えてみましょう。 進路希望から見る社会とのつながり。自身の希望する進路について改めて考えよう。 自分がどのような仕事に興味があるか考えよう。 現段階での進路希望を考えてみよう。	6		テキスト Vol.4
3	P35 ～ P36	自分の将来のライフスタイルについて考えよう。 まとめ 自分と社会のつながりを考えるを学習して。 3年生での進路活動に向けた考え方、意気込みについて作文。	5		テキスト Vol.4

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	2
科目名	情報処理2	単位数	4	教科書	30時間でマスターWord2021 30時間でマスター Excel2021 世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書	出版社	実教出版
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			140h		
4	- - -	[Word] Word機能の復習 [Excel] 1年次の復習 [Photoshop] Photoshopの機能おさらい			8		
5	- P74-82 P104-121	[Word] 入力・文書作成 [Excel] ワークシート活用(条件の複合と論理関数)、Excelの応用順位づけとn番目に大きい値・小さい値) [Photoshop] フィルター			12		
6	- P94-97,184-189 -	[Word] 暑中見舞いの作成 [Excel] ワークシート活用(ネスト)、Excelの応用(列の検索、行の検索) [Photoshop] 作品制作(写真加工)			16		
7	- P124-145 -	[Word] 入力・文書作成 [Excel] グラフ(複合グラフ・ドーナツグラフ・レーダーチャートグラフ) [Photoshop] 作品制作(写真加工)			16	検定試 検定試	7月
8							
9	P176-191 P146-179 -	[Word] Wordの活用 [Excel] データベース(文字列の操作) [Photoshop] ガイド付き写真編集			12	前期試験	
10	- P212-215	[Word] 入力・文書作成 [Excel] Excelの応用(条件付き集計) [Photoshop] ガイド付き写真編集			16		10月
11	- P212-215 -	[Word] 入力・文書作成 [Excel] Excelの応用、'復習問題(ネスト)、検定に向けた演習 [Photoshop] 作品制作(グリーティングカード)			16		
12	- P180-183 -	[Word] 年賀状の作成 [Excel] Excelの応用(順位づけとn番目に大きい値・小さい値) [Photoshop] 作品制作(グリーティングカード)			12	検定試 検定試	12月
1	- - -	[Word] 入力・文書作成 [Excel] 検定に向けた演習 [Photoshop] 自由作品			12		
2	- P98-103 -	[Word] 入力・文書作成 [Excel] '検定に向けた演習・ワークシートの活用(条件付き書式・スパークライン) [Photoshop] 自由作品			12	検定試 検定試験 後期試験	2月
3	P192-199 P70-128 -	[Word] 入力・文書作成・Wordの応用 [Excel] 表・グラフの装飾 [Photoshop] 自由作品			8		

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探究の時間		2	2	宮田貴生			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	課題70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合							
指導目標							
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。特に、来年の進路活動に向けての心構えや自分自身の将来を考え、方向性を定めることができるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	進路活動を踏まえた目標設定 見られている意識、責任を持つこと 目的を理解すること					
5	6	正しい生活習慣 物事に取り組む姿勢					
6	8	自ら課題を見つける 向上心を持つ その活動がなぜ大切なのかを考える					
7	6	学校見学や会社見学について SNSや違法行為について	1	7月下旬			
9	7	興味関心のある職業について 進路希望調査					
10	8	進路活動を踏まえた目標設定 他者を理解し尊重する、協力の大切さ					
11	5	集団と個人の関わりについて 信頼と責任	2	11月下旬			
12	6	休暇中の過ごし方					
1	5	進路活動に必要な準備について 自分の適性や強みについて 進路の方向性を定める					
2	5	自分の適性や強みについて 進路の方向性を定める					
3	5	進路決定に至るまでの流れについて					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
公民	公共	2	2	池田奈央			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
公共		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	06・08・10 13・14・16	面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	選挙の仕組みと課題					
5	8	公共的な空間における基本的原理	1	06	5月末	↑ ↓	
6	8	民主政治と政治参加	2	08	6月末	↑ ↓	
7	6	国民の司法参加	3	10	7月末	↑ ↓	
9	8	法や規範の意義と役割					
10	10	財政の役割と持続可能な社会保障制度	4	13	10月末	↑ ↓	
11	10	働くことの意義と職業選択	5	14	11月末	↑ ↓	
12	6	国際社会と平和主義	6	16	12月末	↑ ↓	
1	8	持続可能な社会づくりに参画するために					
2	-	-					
3	-	-					

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学	課題研究	2	2	小川典子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	課題研究(数学)01・2・3・4・5・6	面接時数	全実施時間数	32 時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
実生活の上で必要となる計算方法を理解し、実際に計算することができる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2 1	単位の変換・換算 報告課題作成	1	1	7月末		
5	1 1 2	小テスト①実施 トピック(指数と対数) 記数法					
6	1 1 1 1	報告課題作成 小テスト②実施 トピック②(微分と積分) 割合	2	2	7月末		
7	1 1 1	割合 報告課題作成 小テスト③実施	3	3	7月末		
8							
9	1 3	トピック③(数の種類) 前期の復習					
10	2 1 1	図形 報告課題作成 小テスト④実施	4	4	12月末		
11	1 2 1	トピック④(ベクトル) 円周角 報告課題作成	5	5	12月末		
12	1 1 1	小テスト⑤実施 報告課題作成 場合の数	6	6	12月末		
1	1 1	場合の数 小テスト⑥実施 後期の復習					
2							
3							

2026年度 年間教育計画

所 属	藤枝学院高等専修学校		学 科	情報教養科	コ ー ス			学 年・年 次	3
教 科	科 目		単 位 数	標 準 単 位 数		担 当 者			
理 科	物 理 基 礎		2	2		鎌田修平			
教科書名			出 版 社	学 習 書		学 習 期 間			
新物理基礎			第 一 学 習 社						
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	02, 04, 05 06, 11, 22		面接時数	全実施時間数 70時間		
	報告課題集						標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 6 回		評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	70%								
指導目標									
物体の運動やエネルギーに関わる現象を科学的に探究する能力や態度を養う。また、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。									

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	物体の運動 速さ①					
5	2	物体の運動 速さ②					
	4	物体の運動 速さ③					
6	8	物体の運動 ベクトル合成と分解	1 2 3	02 04 05	7月18日		
7	4	物体の運動 加速度					
9	4	前期のまとめ					
	2	力の合成と分解					
10	2	力の合成と分解					
	4	作用反作用の法則					
11	4	慣性の法則					
	4	運動の法則					
12	6	熱運動	4 5 6	06 11 22	12月18日		
1	6	エネルギーの移り変わり					
2							
3							

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	体育3	2	2	横手暁也			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	体育 09・10	面接時数	全実施時間数 70 時間 標準面接時数 10 時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 2回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
保健体育にかかわる大切な知識を理解し、何ができるようになるのかを基礎として、そのうえで「どのように社会や世界と関わり、より良い人生を送ることができるか」積極的に学べるようになってほしい。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4							
	2	身長、体重、視力検査等					
	2	整列、方向転換、学院歌					
	2	学校にて体力測定					
5	2	スポーツを推進する取り組み	1	9	7月末		
	2	体育①小テスト					
	2	総踊り・競技練習					
	2	総踊り・競技練習					
6	2	総踊り・競技練習					
	2	総踊り・競技練習					
	2	ドッジボール（ソフトバレーボール）					
	2	ストレッチング・クールダウン					
7	12	前日リハ・当日					
	2	リズムダンス					
9	2	ダンス・集団行動・学院歌					
	2	ダンス・集団行動・学院歌					
	2	ダンス・集団行動・学院歌					
	2	ダンス・集団行動・学院歌					
10	2	豊かなスポーツライフの創造	2	10	12月末		
	2	体育②小テスト					
	2	ドッジフリスビー、テーブルバレー					
	2	卓球、ラダートレーニング					
11	2	ストレッチング、エアロビックダンス					
	2	室内雪合戦					
	2	リレーゲーム					
	2	卓球、ラダートレーニング					
12	2	ストレッチング、有酸素運動					
	2	テーブルバレー					
1							
	2	ダンス・集団行動・学院歌					
	2	ダンス・集団行動・学院歌					
	2	テーブルバレー					
2							
3							

2026年度 年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	3
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ－2	2	2	白瀧 瞳			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Abroad! English CommunicationⅠ		数研		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	16・36・17・18・19・20	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8 時間		
定期試験	年間・学期 6 回	評定算出方法	試験成績30点・取得級評価40点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	30%						
指導目標							
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどの確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 ①語彙、文法などを学習し、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、日常的話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、実践しようとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	Lesson 6 A funny Picture from the Edo Period – 奇想天外な浮世絵師 【受け身】	1	16	4月28日	↑ ↓	
5	4	基礎文法について(受け身)	2	36	5月29日	↑ ↓	
6	4	Lesson 7 A Diary of Hope – アンネ・フランク 【比較表現】	3	17	6月30日	↑ ↓	
7	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
9	5	Lesson 8 A Doctor a New Life – ロボットカフェ 【現在完了形】	4	18	9月30日	↑ ↓	
10	4	Lesson 9 Ghosts in the Oceansー海にひそむゴースト 【名詞を後ろから説明する分詞】	5	19	10月30日	↑ ↓	
11	5	Lesson 10 Pigs from across the Seaー 海の方こうからの贈り物 【関係代名詞】	6	20	11月30日	↑ ↓	
12	3	英語検定対策 (文法・リスニング)					
1	4	英語検定対策 (文法・リスニング)					
2	ー						
3	ー						

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	3
科目名	課題研究3	単位数	4	教科書	学校教材	出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P2 ～ P13	～社会時向けて自分を表現する～学校教材Vol. 5 文章で自分を表現する・履歴書 ・課題研究(資格)	12		テキスト Vol.5 問題集
5	P14 ～ P21	言動で自分を表現する・面接 ・課題研究(資格)	16		テキスト Vol.5 問題集
6	P22 ～ P25	自分の考えを表現する・作文 ・課題研究(資格)	16		テキスト Vol.5 問題集
7	P2 ～ P9	自分の考えを表現する・作文 ・課題研究(資格)	12		テキスト Vol.5 問題集
8					
9	P2 ～ P9	～社会の中で自分らしく生きるために～学校教材Vol. 6 ワークルールを考えよう ・課題研究(資格)	20		テキスト Vol.5 問題集
10	P10 ～ P17	セルフマネジメントを考えよう ・課題研究(資格)	16		テキスト Vol.6 問題集
11	P18 ～ P25	世の中に目を向け自分の考えを持とう ・課題研究(資格)	16		テキスト Vol.6 問題集
12	P26 ～ P30	世の中に目を向け自分の考えを持とう ・課題研究(資格)	12		テキスト Vol.6 問題集
1	P31 ～ P34	まとめ ・課題研究(資格)	10		テキスト Vol.6 問題集
2					
3					

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	藤枝学院高等専修学校						
学 科	情報教養科		コース			学年・年次	3
科目名	情報処理3	単位数	5	教科書	30時間でマスターWord2016 30時間でマスター Excel2016 Illustrator&Photoshop操作とデザインの教科書	出版社	実教出版 技術評論社

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考		
	ページ	項 目・内 容	175h				
4	-	[Word] <u>2年次の復習</u>	15				
	-	[Excel]					
	-	[Photoshop&Illustrator] 2年次の復習					
5	-	[Word] <u>ビジネス文書作成</u> ビジネス文書の構成	20				
	P146-162	[Excel] <u>データベース</u> データベース入門、並べ替え、データの検索と置換					
	-	[Photoshop&Illustrator] 夏をイメージした作品作り					
6	-	[Word] <u>暑中見舞いの作成・文集作成</u> ワードアートの機能の復習、修学旅行文集作成	20				
	P163-174	[Excel] <u>データベース</u> データの抽出、データの集計					
	P234-263	[Photoshop&Illustrator] 文字の作成と編集、ロゴやシンボルマークの作成					
7	-	[Word] <u>文集作成、検定に向けた演習と復習</u> 修学旅行文集作成	20	検定試	7月10日		
	P174-177	[Excel] <u>検定に向けた演習と復習、データベース</u> データの集計		検定試	7月16日		
	-	[Photoshop&Illustrator] パフォーマンスフェスタ 各部門作品制作					
8							
9	P200-216	[Word] <u>ワード機能の復習</u> 差し込み印刷・グラフの挿入	20	前期試験 (校内模試)			
	-	[Excel] <u>検定試験・校内模試に向けて</u>					
	P264-275	[Photoshop&Illustrator] 地図、グラフの作成					
10	P200-217	[Word] <u>入力・文書作成、ワード機能の復習</u> ハイパーリンクの説明、解除方法、差し込み印刷・グラフの挿入の復習	20	検定試	10月8日		
	P179-206	[Excel] <u>データベース、Excelの応用</u> データの集計、データベース関数の利用		検定試	10月15日		
	P276-277	[Photoshop&Illustrator] 地図、グラフの作成、作品制作					
11	-	[Word] <u>入力・文書作成</u> 図形の挿入(地図の作成)、文章校正・配置と基準の説明、校正記号について	20				
	P211-221	[Excel] <u>Excelの利用</u> 条件付き合計・平均、複数条件でのカウント・合計・平均、シート間の計算					
	P278-285	[Photoshop&Illustrator] ライブトレースとライブペイント、押し出し・ベベル、回転体の作成					
12	-	[Word] <u>年賀状の作成</u>	15	検定試	12月10日		
	P194-195	[Excel] <u>Excelの利用</u> 文字列の操作(1)		検定試	12月17日		
	-	[Photoshop&Illustrator] 3D効果を利用した作品作成					
1	P220-236	[Word] <u>ワード機能の復習</u> レポートの作成	15	後期試験 (校内模試)			
	P196-199	[Excel] <u>Excelの利用・校内模試に向けて</u> 文字列の操作(2)					
	-	[Photoshop&Illustrator] 今まで習得した技術を用いて自由作品をつくる。					
2		まとめ	10				
3							

《留意事項》

年間教育計画

所属	藤枝学院高等専修学校	学科	情報教養科	コース		学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探究の時間		2	2	平野志織			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	課題70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合							
指導目標							
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。特に、成人するということの意味や自ら人生を切り拓いていくことについて深く考えられるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	6	健康管理 スケジュール管理					
5	8	資格や免許について 最上級生としての取り組み方					
6	8	修学旅行の目的 進路活動の流れ					
7	6	報連相の重要性 夏季休暇中の進路活動について	1	7月下旬			
9	8	残り半期の学校生活について					
10	9	働くことの大切さ 自動車等の運転免許について					
11	9	社会人として求められるルール・マナーに対する意識 SNSを含むコミュニケーションの取り方 立場や状況を考えた立ち居振る舞い	2	11月下旬			
12	6	進路先に向けた準備 社会人に向けた準備					
1	8	進路先での活動に向けた準備					
2	4	卒業式に向けた準備 2月・3月の過ごし方					
3							